

2025日中企業連携知財フォーラム

# サステナブル 企業経営と 知財マネジメント

～循環型社会を迎えた時代の最先端の取組～

2025年

4/18(金) 10:00～17:05

参加費無料  
事前登録制

日中同時通訳付

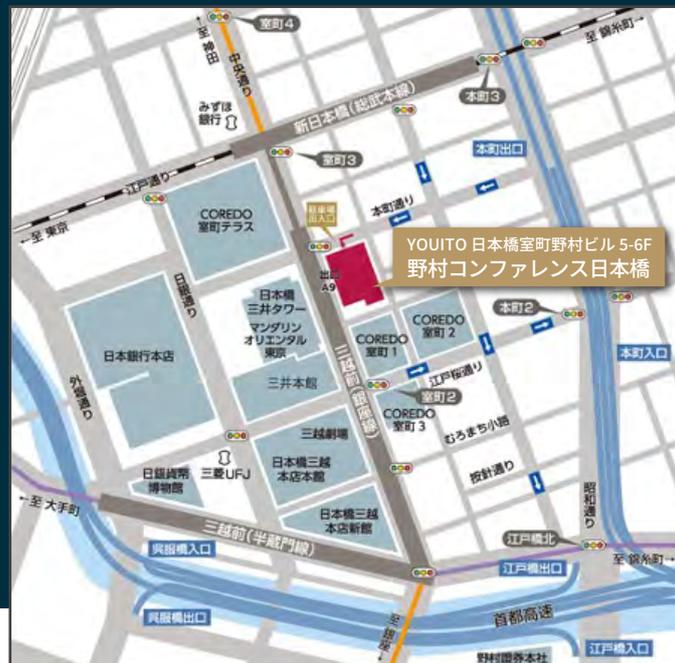
日中企業連携知財フォーラムでは、2005年に上海の開催以降、毎年日中企業の知財責任者が、様々な知財の課題に関する議論を継続しています。知財責任者同士が、共通の課題について議論を交わす非常に珍しく、また、重要なプラットフォームとなっています。

企業と知財を取り巻く環境は、競争から共創へと移り、技術の進歩は便利さ、豊かさは当然にして、現在では、企業は、環境や社会に配慮し、健全な統治を行う、ESG経営が求められています。この変化は、企業の知財活動にも大胆な変革を迫るものとなっています。

先が読めない、常に変化を求められている現在、個社だけでは解決が難しい課題が多く外部との連携が経営基盤として重要になっている。本年度は、この大きな変革期に、持続可能な経営を実現するための知財マネジメントの在り方について、北京の中国専利保護協会(PPAC)に加盟している有力企業を招いて、日中企業の最先端の取組みを、企業経営に資する知財創造と知財活用にテーマを分けて議論するフォーラムを、PPACとの共催で開催します。

野村コンファレンス日本橋  
6階大ホール

開催方式 | 集合形式 定員 | 200名(先着)



# プログラム

10:00-10:35

## 開会挨拶



■JIPA理事長  
デンソー  
山中 昭利



■PPAC会長  
呂 庭彦氏



■JIPA顧問  
JIPA日中企業連携WG  
竹本 一志

10:35-13:00

## パネルディスカッション

### テーマ1 変革期におけるサステナブル企業経営に資する知財創造

ESG経営では、環境問題や社会問題への取り組みが重要であり、その取り組みのために社外との連携も必要となっている。また、ビッグデータをはじめとして情報の価値が増大するなど、経営資源も変化している。このような変革期の中で、経営資源として必要な知財とはどのようなものか、それをどのように創造していくべきかについて議論する。



■ダイセル  
知的財産センター長補佐  
水方 勝哉氏



■トヨタ自動車  
知財企画室長  
杉村 多恵氏



■中国長江三峡集団  
陳 榮敏氏



■小米集団  
李 艳君氏



コーディネータ  
PPAC副秘書長  
王文静氏

13:00-14:00

## 昼食休憩

14:00-14:10

## PPAC 紹介

14:10-14:20

## JIPA 紹介

14:20-16:45

## パネルディスカッション

### テーマ2 変革期におけるサステナブル企業経営に資する知財活用

ESG経営では、環境問題や社会問題へ取り組みによっても企業価値が評価される。情報の価値が増大するなど、経営資源も変化している。企業経営での問題解決は従来通りの個社による対応では実現が難しく、外部との連携を進めて共生を図ることが重要となっている。このような変革期の中で、経営資源として知財をどのように活用すべきか議論する。



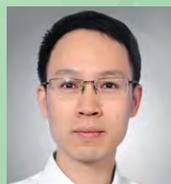
■アルプスアルパイン  
技術本部  
知的財産部長  
中村 麻紀氏



■セイコーエプソン  
知的財産本部長  
執行役員  
小林 利彦氏



■華為技術日本  
王 斌氏



■珠海格力電器  
文 旷瑜氏



コーディネータ  
山田養蜂場本社  
グループ知的財産室 室長  
樫 正俊氏

16:45-17:05

## 閉幕挨拶



■PPAC会長単位代表  
陳 榮敏氏  
(中国長江三峡集団)



■JIPA常務理事  
JIPA日中企業連携WG  
リーダー  
山口 博明(小松製作所)